

地域おこし協力隊
東将太隊員の！

NEOだより

4月号 (3月25日発行)

『春に、2つのプロジェクト実行へ！』

・淡墨桜の開花シーズンに合わせて、2つのプロジェクトを実行します！どちらのプロジェクトも4月1日～5月6日までの期間に実施する予定です。

①おもてなしカード

～根尾小学校の子供たちに、僕が用意した右のカードの枠の中に、手書きでメッセージまたは絵を書いてもらいます。これを樽見駅、淡墨公園の休憩所、商店などに掲示します。観光客をみんなでおもてなしする意識を高めることが目的です。



↑ おもてなしカードの用紙

②樽見駅ふれあいプラザ写真展

～ふれあいプラザ内に、市内在住の学生が撮った樽見鉄道の駅舎の写真、樽見鉄道で働く人の写真を10枚展示します。淡墨桜だけではない、根尾地域の魅力を観光客に知ってもらうことが目的です。



～あずまつくすコラム～

「地元を離れて、東京に出て、東京で働くこと」

ちょっと前の僕は、東京23区内に住んでいること自体がカッコイイと思っていました。地方にいる人よりすごい？とまで思っていたかもしれません。今はそんなことは思いません。何でそんな事を思っていたのかなー。日本の首都だから？大企業の本社があるから？有名人が住んでるから？オシャレなお店がたくさんあるから？

東京に出たのは、18歳の時。正直、住み始めてすぐ東京での生活に違和感を感じていました。心のどこかで落ち着かない、どこか無理して人に合わせた行動ばかりとっている。

何で違和感を感じたか？

たぶん理由はこうです。東京には“地域”が存在していなかったから。地方では当たり前にある近所の人との挨拶。馴染のおじさん、おばさんとの世間話。地域の行事。社会人になってからは、3年間はシェアハウス(他人との共同生活も経験したけど、結局シェアハウス内の人とは仲良くなったけど、近所の人との交流は何も生まれなかった。普通に道端で近所の人と挨拶をしたりすることも、なぜか東京では“しなくてもいい”となってしまう。これは不思議。東京の何とも言えない空気がそうさせるのかもしれない。でも、18歳の時に東京に出て良かったと思っている。たくさんの刺激をもらって自分の視野を広げることができた。それに、今まで気づけなかった地元の良さがわかったから。

【あずま隊員のここ1カ月の主な活動！】

- 2/23 →根尾中学校「伝統を引き継ぐ会」
- 2/28 →根尾小学校へ。企画提案
- 3/1 →岐阜大学ボランティアセンターへ
- 3/9 →モレラ岐阜「もとまるイベント」
- 3/13 →CCNet 番組収録
- 3/15 →植樹準備の手伝い
- 3/19-20 →美濃市で研修に参加
- 3/24 →樽見駅でのイベント手伝い

◆本巣市地域おこし協力隊 東 将太(あずましようた)の情報はコチラをチェック！

・ツイッター：@motosu_MAX ・ブログは「もっと素ブログ」で検索！

・フェイスブックは「本巣市地域おこし協力隊」で検索！どうぞ宜しくお願いします。

NEO 便り裏面

どうも、こんにちは。

地域おこし協力隊隊員の山本剛士です。大阪府の片隅から根尾の神所へとやって参りました。

この紙面では、協力隊山本の活動報告や地域行事の感想を中心として、ときには趣味や休日の活動も含めて、報告・紹介しております。

少しでも私自身が伝わればと思いますので、どうぞ、寛大な目でお付き合いくださいませ。

本巢市 地域おこし 協力隊

根尾の「三」報告

「余った竹を」再活用

根尾で余った竹を何かうまく利用できないかと思い、竹灯籠に加工して根尾の中に飾ることにしました。今回は門脇地区の方々にご協力いただき、灯籠を製作しました。竹で作った灯籠には、障子紙を貼り付け、歓迎の文字や案内板代わりに使いたいと思っています。紙さえ変えればどんな内容



でも書けるので、個人や地域で使いたい場合でも、気軽にご連絡くださいませ。完成したものは、樽見駅の待合室やうすみ温泉に置かせてもらう事になりました。立ち寄った際には、ぜひ一度眺めてみてください。あなたの言葉もお待ちしています。

「根尾の伝統を」感じた日々

二月は樽見の十一日祭や小学校の地域学習発表会、中学校の伝統を引き継ぐ会へ足を運び、根尾の地域活動取材していました。そのなかで、私が感じたことをひとつご報告させていただきます。感想を一言でいうなれば、



「根尾の伝統は強い」です。私は根尾で実際に目にするまで、「十一日祭」という行事を知りませんでした。しかもそれは樽見だけではなく、八谷や門脇、板屋などでもずっと行われていると聞き、とても驚きました。

小学校では生徒たちが自分の地域の文化・自然・歴史を勉強し、またそれを引き継いでいきたいと発表。これほど素晴らしいことだと感じます。

中学校の「伝統を引き継ぐ会」では、全校生徒が輪になって根尾中の伝統ともなったオカリナを演奏するシーン、そして三年生から下級生にオカリナを手渡すシーンがと

ても感動的で、強く印象に残っています。こうした行事の開催を地域が支えている。それはとても大切な「地域の強さ」。これからも大切に持ち続けて欲しい、と思います。

「わよっ」と

四月になりました。ようやく朝の冷え込みにも慣れてきたかなというところ。ですが、「今年の冬は雪が少なくてよかった」という言葉を何度も聞くので、来年はどうなるのだろうと今から少しドキドキしています。

三月中は暖かくなり、日が長くなっていくのが面白いこのころ。お陽様も春色に移り変わってきて、空を昇上げるのが最近のちよつとした楽しみです。これから花や蝶が根尾を鮮やかにしてくれるかと思うと、とても心が弾みます。根尾の春を一杯楽しみながら活動していきたいです。